



日本の伝統文化

校長 佐々木 秀之

桜の花はすっかり葉桜に変わり、太陽の光を透かして見る若葉はなんともいえない青々とした美しさを見せています。90名の1年生もすっかり学校に慣れ、教室からは楽しそうな笑い声や歌声が聞こえてくるようになりました。

＊

私たちが日常生活を送る中で意識することは少ないですが、海外から見ると日本文化は極めて独特に映るといいます。「礼儀正しさ」「おもてなしの精神」「美徳とされる謙遜」「列を作って並ぶ」「不完全だからこそその美 わびさび」「勤勉さ」などなど上げるときりがありません。

日常生活において「おもてなしの精神」などを意識することは多くはありませんが、それは私たち日本人が「美徳」として当たり前のように接してきたからではないでしょうか。

昨年行われたサッカーワールドカップで、日本代表は試合後のロッカールームを清掃、整理整頓し、折り紙と置手紙を残して会場を後にしたことが話題となりました。客席をゴミ拾いして去る日本人サポーターとともに、日本人の美徳は多くの海外メディアが称賛しました。

今年行われたワールド・ベースボール・クラシックでは、海外の野球記者が「日本のダグアウトがどれほど綺麗であるか、驚く時間をとらない?!」と文面に綴り、整理整頓された日本ベンチの画像を掲載すると、それを見た海外ファンからは称賛が相次ぎました。

我が国が伝統的に大切にしてきた知・徳・体を一体として育む「日本型学校教育」は教育の一環として清掃の時間が設けられ、自分の使うところは自分できれいにするという精神が昔から養われてきました。

新型コロナウイルス感染症により、教室の清掃は放課後に教職員で行ってきましたが、今年度から子供たちによる清掃を再開しました。

＊

現代社会は、先人が努力して発見したことや古くから大切にされてきたことの上に成り立っているものであるといえます。それぞれの国や地域によって社会が大きく異なるのは、先人たちが気候風土に合わせて育んできた伝統や文化、美意識が根底にあるからです。最新の技術や製品による生活の豊かさを追い求めるのと同様、それまでに長い年月の中でできるだけ原型をとどめるように先人たちが努力を重ねてきた伝統や文化を子供たちに大切にさせたいと考えています。